

【開校5周年 星城大学 名古屋丸の内キャンパス】

特集 発見！星城 つなぐ、星城の輪



学校法人 名古屋石田学園

〒460-0008 名古屋市中区栄1-14-32

TEL.052-689-6002 FAX.052-689-6003



星城大学・大学院



星城高等学校



星城中学校



星の城幼稚園



専門学校星城大学リハビリテーション学院



名英図書出版協会



法人本部事務局

星城大学の
新たなる歩みと共に



星城大学後援会
会長 出口 克美

星城大学後援会は、本学の前身であります名古屋明德短期大学後援会を引き継ぎ、平成14年4月、開学と同時に発足をいたしました。それ以来、会員の皆様、学長先生をはじめとする諸先生方、地域の人々の温かいご支援により、発足22年目を迎えました。

後援会の目的は、建学の精神、教学方針に則り、学生生活の充実、地域社会との協力関係の促進に寄与することにあり、主な活動内容としては保護者教育懇談会の開催、奨学支援、部活動支援、教育行事支援を行っております。

次年度からの学園方針である学内環境の改善方針に従い、後援会も一層豊かな学生生活を送ることのできる環境づく

りの支援を行い、大学と学生、家庭との連絡を緊密にし、星城大学の新たなる歩みと共に、さらなる会員相互の親睦を図ってまいります。

つきましては会員の皆様、学園関係者の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

後援会

卒業生と大学の
かけはしでありたい



星城大学同窓会
会長 柏木 克友

私は、平成31（令和元）年度から、会長を務めさせていただいております。

現在の同窓会活動として、卒業生支援を行っています。卒業生同士で立ち上げた団体に対し、活動資金を一部補助しています。現在、リハビリテーション学部の卒業生による「星城大学リハビリテーション研究会」がその対象となっています。今後も学部を問わず、卒業生のみで構成された職能などを高める団体には、補助を検討してまいります。

また、大学祭で卒業生が、事業・活動・リクルートなどのPRブースを出展することができるよう支援しています。

さらに、総会や懇親会の開催、これから会報も定期的に発

行していく予定です。

今後同窓会は、卒業生と大学のかけはしとなり、お互いが発展していけるようサポートしていきます。

私たちの活動はFacebook・Instagram「星城大学同窓会」にて発信しております。ぜひ、チェックしてみてください。

同窓会

生徒の笑顔の
ために



星城高等学校父母の会
会長 細井 佳奈

星城高等学校は、建学の精神である「彼我一体」のもと、“感謝のできる”実践力に富んだ逞しい人間の育成を教育目標に掲げ、日々、先生方が一人一人の生徒に向き合いご指導されています。

父母の会は、本部役員五役（会長・副会長・総務・会計・会計監査）と8つの地区から選出された地区委員で構成されています。役員は、総務委員会、生徒指導委員会、広報委員会にそれぞれ所属します。総務委員会は校内の環境整備、生徒指導委員会は登下校時のマナー指導、広報委員会は学校説明会等でのお手伝いが主な活動です。

その他、生徒の教育には保護

者の協力が不可欠であり、家庭教育の重要性を再認識するために、地区ごとに講演会を企画、運営、開催し毎回有意義なものとなっています。

月1回程の役員会では、毎回高い出席率となっております。役員の高さを感じられます。

これからも父母の会は、生徒たちが笑顔を保ちやすさ安心して、質の高い教育が推進できるよう、活動して参ります。

父母の会

高校とともに
歩み続ける



星城高等学校同窓会
会長 大竹 寛

昭和41年の春、第1回生の卒業式が執り行われました。その後、生徒会役員経験者が集まり、星城高校の同窓会が発足しました。本会は、学校と卒業生をつなぎ、卒業生相互の親睦を図りながら、学校行事や在校生を応援する組織として活動しています。

同窓会としての活動は、総会の開催をはじめ、クラス会・学年会・クラブOB会が開催される折に、それぞれ援助をしたり、学校行事に参加したり、また、卒業生には記念品を贈ったりするなどしています。

同窓会幹事会、同執行委員会、同役員会などを運営・進行するために、顧問・会長・副会長・総務・企画・会計・会計監査・正副幹事長を構成員として

置き、それぞれが本業を持ちながらも、活動しています。

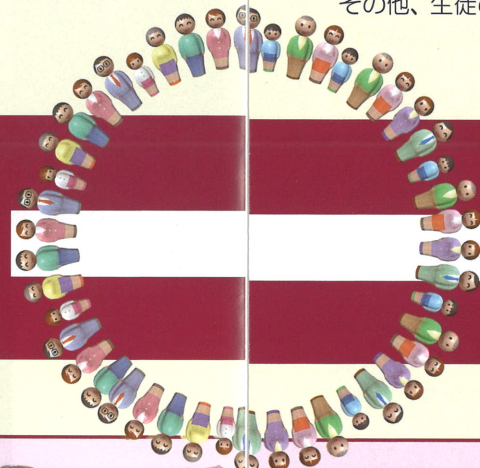
毎年続けてきた総会が、コロナ禍により、止む無く中止となり悔やまれます。毎年のように開催している学校も多くはなく、本総会ではできる限り継続していきたいと考えています。

発足当時から半世紀以上が過ぎ、学校を取り巻く教育環境も変わっていますが、同窓会は変わらず活動を継続していきます。

同窓会

特集

つなぐ、星城の輪



名古屋石田学園の各学校には、後援会・同窓会が設置され、各会が様々な活動を通して学園を支え、そして「星城の輪」をつないでいただいております。各学校の後援会・同窓会会長の皆さまより、これまでの活動の成果について、さらにはこれからの取り組みの展望、期待などをうかがいました。

発見！星城

星城中学校

学校生活の
サポーターとして



星城中学校後援会
会長 久保 靖子

星城中学校後援会では、年5回の役員会を中心に、学校の教育効果を高めるため、教職員の皆様と行事運営、活動方針の打ち合わせを行い、様々な事業を行っています。今年度はコロナウイルスの影響で中止となっていた総会、保護者会後の懇親会も名古屋ガーデンパレスにて開催することができました。

中学校では、授業後にGK（学力向上）タイムが設定されており、生徒一人一人が自分の学力に合わせて自習を行います。その間職員室では、生徒の質問に先生方が答える環境づくりをしていただいております。そのサポートとして、職員室に設置する学習テーブルとイスのセットの贈呈を決定しました。

その他、教育環境向上のため、教室等への加湿器の設置、恒例になっている健脚会では、中学校から名古屋城までの往復42kmを安全に走破するために、GPSタグを後援会にて準備いたしました。今後も行事や教育環境の支援を通じて、生徒が安心安全に学校生活を送れるように、サポートする存在でありたいと思っております。

後援会

コロナ禍を経て
未来へ



星の城幼稚園明星会
会長 麦島 千恵子

星の城幼稚園の保護者会である明星会では、新入園児募集や夏祭り、バザーや行事の手伝い、懇親会といった様々な活動が展開されてきました。

今年度は、新入園児募集のお手伝い、夏祭りの企画実施、謝恩会の主催、各種講演会などへの参加、ボランティア活動などが主な活動内容となりました。役員会では先生方の思いを聞く機会をいただくとともに、役員の方の意見を反映していただくことも多く、感謝しております。

また、たけのこ掘りにボランティアで参加した際などに、成長していく子どもの姿を見ることができたことも大きな喜びとなりました。

1歳児の幼児教室からお世話になった我が子も無事卒園

を迎えることができました。コロナ禍で様々な事がありましたが、先生方の配慮で楽しい園生活を送ることができました。今後とも、幼稚園と明星会がしっかりと手を組んで、ますますの発展をしていただけることを祈念しております。

明星会

どんな経験もこれからの
チャンスにできる



専門学校 星城大学
リハビリテーション学院後援会
会長 今井 敬司

コロナ感染症という経験したことのない状況下、学校行事においても、同窓の懇親のためのイベントや将来の専門を知るべく特別講義などが中止となり、学生達の学ぶ機会が奪われてしまったことは大変遺憾でなりません。

しかし、彼らもこういった未曾有の環境を経験することでヘルスケアへの関心が高まり、それぞれが考える良い機会に恵まれたと考えても良いのではと思っています。それは彼らと話す中、何も出来ないから諦めるのではなく、制約された中での工夫をして知識や技術を身につけていく、そういった気構えや方法を先生方に指導されていたことが大きな要因のようです。

後援会

星誕会の活動と
今後の展望



専門学校 星城大学
リハビリテーション学院星誕会
会長 北川 秀朗

同窓会（以下星誕会）会長の5期卒業生の北川秀朗です。星誕会は発足から18年が経過し、会員数も800名を超える大きな同窓会団体となりました。

過去には、様々な分野でご活躍の理学療法士を講師としてお招きし、卒業生の知識・技術の向上のために研修会を開催してまいりました。また、職場以外での理学療法士のネットワークを築いていく、つながりの場としての役割も担ってまいりました。

運営する役員・卒業生の会員とともに、臨床現場で活躍する方が大半であり、昨今の新型コロナウイルス感染症の兼ね合いから活動が困難な状況でした。来年度より活動を再開し、研

修会の方法もアップデートしてまいります。また、同窓会の会員・非会員問わずに参加できる研修会を開催し、つながりを届けられるようにしていきたいと考えています。

今後同窓会役員や会員の方のご協力をいただきながら、より充実した会を運用できるように努めてまいります。ぜひ研修会へ足をお運びください。

星誕会

星城大学 名古屋丸の内キャンパス

経営学部の教育が、東海キャンパスに加えて丸の内キャンパスで行われるようになって5年、経営学の理論や事例を幅広く学ぶプログラムの成果として、経営学に関する資格試験の合格率も上昇するなどの成果が出ています。また、キャンパスの立地や特長を活かして、様々な企業を訪問する授業が提供されていることも、学生の学びに良い刺激を与えています。

石田隆城学長は、折に触れて「知識のみならず知識の使い方を学ぶ」ことの重要性を説かれます。この考えの下、丸の内キャンパスでは、令和6年4月から『ビジネススペシャリスト育成プログラム』が始まります。



卒業後 **ビジネスのスペシャリストとして社会で活躍!**

Q ビジネススペシャリスト育成プログラムって?

4年間を通じてビジネスに関する知識とスキルを身につけていくプログラムです。社会で活躍できるリーダーとしての役割を担う人材を育成していきます。

学生は「自分たちが丸の内キャンパスを作り上げていく」という高い意識のもと、毎日の学修に励み、学外活動においても、新規サークル、学生会の立ち上げなど、活動の基盤づくりを積極的に行ってきました。

開校して5年、フットサル、硬式テニス、バスケットボール、卓球、ボードゲームといった部やサークルが誕生し、また、学生会においても七夕会、クリスマス会、学祭への模擬店出店など、活発な活動が行われています。

場所が異なる東海キャンパスとの交流やつながりも、学内設備をフル活用し、Zoomでコミュニケーションをとるなど、両キャンパスを結ぶための工夫や努力が学生の成長につながっていきました。

これからさらなる進化を遂げる名古屋丸の内キャンパス。最先端経営を学び、大きく成長した学生たちが次々と社会へ飛び立ちます。

学 びインタビュー 卒業生

人との出会いを大切に
新しいことに挑戦!



蛭川 颯太 さん
株式会社 オティックスホールディングス
総務人事部 人事健康グループ
経営学部 2022年度卒

マネジメント検定の受験を通して、経営戦略・組織等の経営ノウハウをゼロから体系的に学べたおかげで、組織構造を理解して入社できました。また、学内 MOS 講座を受講したことで、事務仕事は困ることなくスムーズにこなしています。そして、コミュニケーション能力も養えました。オープンキャンパスのスタッフやフットサル部の活動、チームで動画制作する実践的な授業から、学生同士の交流の機会が多くありました。勤務先は従業員数が約 1,300 名規模の会社です。新しい人との出会いに抵抗なく接することができています。

たくさんの人と出会ったり、新しいことに挑戦したり、新しい知識を吸収することで、自分の力となり華やかなキャンパスライフを過ごすことができると思います。

活 動インタビュー 在学生

楽しいキャンパス
ライフにトライ!



古田 優樹 さん
経営学部 3年
学生会実行委員会

丸の内キャンパスは、東海キャンパスに比べ少人数ながらも、学年間の縦のつながりをつくることで、イベントなどに興味をもってもらい、イベントなどを通して、普段から先輩・後輩のコミュニケーションができるようになることを目標にしていました。東海キャンパスとの情報共有は大変でしたが、イベントに参加して、楽しく笑顔になっている学生を見るのがやりがいにつながりました。

学生会での企画・計画・準備の過程において、経営学で学んだことが実践でき、経営学をより理解し身近に感じることができました。また、当初は人前で話すことが苦手でしたが、学生会の活動を重ねることに慣れていき、インターンシップや就活で話すことが平気になったのも成果の一つです。

クローズアップ

シリーズ Vol.3

学校法人
名古屋石田学園

役員

名古屋石田学園を支えていただいている役員(外部理事・監事・評議員)の方々は、三回シリーズでご紹介してまいります。シリーズ最終回となる今回は、福間和修理事、林安二評議員、鬼丸正之評議員の三方に、名古屋石田学園の魅力と今後期待するもの等を伺いました。



名古屋石田学園
福間 和修 理事



名古屋石田学園
林 安二 評議員



名古屋石田学園
鬼丸 正之 評議員
株式会社鬼丸 代表取締役

— 自己紹介

20数年前にお付き合いさせていただいてから現在まで、名古屋石田学園とは深いご縁を感じております。

次男が星城高校にお世話になり、その時父母の会役員を経験し、さらに最近では法人本部職員として勤務させていただきました。星城高校男子バレーボール部が3冠を果たした時に、東京体育館に通ったことが貴重な思い出です。

— 名古屋石田学園の魅力、今後期待するもの

私の知る様々な方々から、学園の良い評判を耳にします。それはひとえに、愛知教育界のリーダーたる石田理事長はじめ、教職員ならびに同窓会の皆さんが築き上げてきた伝統だと思います。

今後も、関係者の皆さんが一枚岩となって建学の精神を尊重し、新しい名古屋石田学園を創造していただきたいと切に願っています。そして、次の時代を担う皆さんにより、その精神が力強く継承されることを信じております。

私も応援団として見守り続けます!

— 自己紹介

星城高校で1971年から40年間、お世話になりました。思い出するのは若い頃、生徒と真剣にぶつかり合った日々風景です。

その生徒の皆さんもたくましく成長され、社会の中核を担う存在になられ、今は第2の人生を歩んでおられる方もおります。

その生徒(卒業生)の姿を見て思うことは「感謝のできる」実践力に富んだ逞しい人間の育成を目指してきたことは間違いではなかったとこの年になって改めて思っております。

— 名古屋石田学園の魅力、今後期待するもの

名古屋石田学園の現職の皆さんは、生徒・学生にカリキュラム内容を教えるのは当然ですが、もう一つの柱として、本学園の「建学の精神」を礎にした生徒・学生のアイデンティティづくりの手助けをしていただきたいと思います。

アイデンティティづくりは、自己理解と自己表現のプロセスです。個々の生徒・学生が自分自身を認識し、他者との関係の中で自分を見つけて、成長していく過程の中で、本学園の「建学の精神」がアイデンティティづくりに役立つように、手助けをしていただきたいと思います。

— 自己紹介

私は1970年、星城高校19回生として入学しました。二人の息子も星城高校を卒業し、社会で活躍しています。

私は、次男の在学中に父母の会会長を務めさせていただいたことが、星城高校と再び関わるきっかけとなりました。その経験から、星城高校の教育の素晴らしさを改めて実感し、評議員として学園の運営に携わることを決意しました。

— 名古屋石田学園の魅力、今後期待するもの

名古屋石田学園は、礼節とグローバル性を重んじる校風です。礼節を重んじることは、自分自身や周りの人を尊重することで、社会で活躍する上で必要な人間力を養うことができます。グローバル化が進む現代社会において、異文化理解やコミュニケーション能力は、ますます重要になってきています。名古屋石田学園では、国際交流や英語教育に力を入れることで、グローバルな視点で活躍できる人材を育成しています。

コロナ禍を経て、社会の変化が加速しています。学園には、変化に柔軟に対応し、社会に貢献できる人材の育成を期待しています。

学園アカルト

春休みを活用！学生の様々な取り組み

星城大学

春の訪れが少しずつ感じられ、学生も春休みを利用して様々な活動に取り組んでいます。

2月6日（火）から7日間、「海外ビジネス演習」のオーストラリア・スタディツアーに、25名の学生が参加しました。

メルボルンの美術館や博物館など現地の歴史を学びながら、市街地散策や英語での買い物を楽しみ、異文化に触れながら課題に挑戦することで、オーストラリアを「五感」で満喫しました。



【熱心に聞き入る学生たち】

【The Couch 国際センター 交流会】



また、2月6日（火）～8日（木）の3日間、就職活動に取り組む学生の業界・仕事理解促進を目的として、「学内業界研究会」を実施しました。

65社の企業の皆様にお越しいただき、延べ228名の学生が参加しました。学生からは、「少人数で話を聞けたので質問しやすかった」「色々な業界の話聞く機会があって、自分が行きたい業界、条件が見えてきた」などの声があり、非常に有意義な研究会となりました。

令和5年度 卒業記念品紹介「四阿（あずまや）」と「屋外時計」

星城高等学校



【学内に新たなオアシスが増えました！】

2月22日（木）、星城高等学校第59回卒業証書授与式が挙行されました。卒業生の皆さんから、今年度の卒業記念品として「四阿」一棟と「屋外時計」一台を寄贈していただきました。

「四阿」というものは、庭園などに、休憩などの目的で設置される簡素な建屋のことをいいます。柱と屋根だけで、壁面をほとんど持たないため、開放的で眺望に優れるため、江戸時代の頃から大名庭園（日本庭園）の河畔などに休憩所として設営されるようになりました。

星城高校の四阿は令和3年度に、卒業記念品として本館の南庭園に二棟設置されました。これに続き、今年度は2号館校門左側にある庭園内に設置し、三棟が完成しました。このことで庭園の情緒は、少し日本庭園に近寄った感じですが。

一方、平成28年度末に完工した第2グラウンド（芝生グラウンド）には「屋外時計」を設置していただきました。

卒業生の皆さん、ありがとうございました。ご卒業おめでとうございます。



健脚会で42kmを完歩！

星城中学校

長い距離を歩く体験を通して心身を鍛えようと、毎年恒例の健脚会が、1月26日（金）に行われました。チームを編成して中学校を出発。仲間と励まし合いながら、名古屋城を折り返す往復42kmの「完歩」を目指して歩きました。



【笑顔でゴールイン、よく頑張りました】

特に今年は、保護者と共に歩くことで、ここまで成長できたことへの感謝の気持ちを伝えたいと、保護者の皆さんにも参加を呼びかけました。親子でゴールを目指し頑張っている姿が印象的でした。

ゴールインした後は、後援会の方が差し入れてくださった豚汁をいただき、冷えきった体を温めました。体力の限界に挑戦できた生徒たちの表情は、どこか誇らしげでありました。



【ゴールを目指して出発！】

命を守る避難訓練

星の城幼稚園

1月30日（火）に「避難訓練」を実施しました。何度も実施しているため、今回は「予告なし」です。

午後、園庭や保育室で遊んでいるときに「緊急地震速報」が流れました。子どもたちは真剣に近くの先生のところに集まり、静かに小さくなっていました。

今回は、子どもがその時、どのように動くかを検証することも目的の一つでした。園庭の大型遊具のウータンのところに隠れていた子、慌てて園庭から保育室に戻る子などが確認されました。今後の課題です。

園ではその他にも「不審者」に対する避難訓練も実施しています。いざというときに如何に命を守るか、をこれからも考えていきたいと思っています。

【みんなで先生のもとへ集合！】



【安全に避難できました】



中学生の上級学校訪問

星城大学リハビリテーション学院



【体の仕組みを解説！】

1月17日（水）に名古屋市立滝ノ水中学校（2年生）の生徒7名が、上級学校訪問で本学院に来校されました。訪問の目的は、進路選択として様々な職業を知るために行っているとのことでした。

本学院では、リハビリテーションとはどんな意味をもっているのか、そして、理学療法士のお仕事を中心に、約70分間の講義を行いました。講義の中では、体の重心移動と姿勢についての体験も行い、体の仕組みの不思議に驚きながらも、楽しく講義を受けていました。

講義の後は、理学療法士になるためにどんな勉強をするのかを交えながら、校内の実習室などを回りました。理学療法士のお仕事について理解を深め、将来の進路選択や、職業選択の際に役立てていただければ幸いです。



【片足でバランスをとってみよう！】

【理学療法士ってどんなお仕事？】



羽ばたけ！ 星城大学 硬式野球部 2人目のプロ野球選手誕生



【奥田域太選手】

星城大学硬式野球部の奥田域太さん（経営学部4年）が、2024年シーズンからプロ野球・ウエスタンリーグに新規参入する「ハヤテ223（ふじさん）」のトライアウトに挑み、見事合格を果たし入団を決めました。

星城大学硬式野球部としては9年ぶり、2人目のプロ野球選手誕生となりました。

大学では左投手のエースとして、1年春からマウンドに立ち活躍。愛知大学野球2部リーグにおいては、4年間で通算26勝という成績を残し、チームの勝利に大きく貢献しました。

今後はプロの打者を相手に力を伸ばし、ハヤテで活躍して、NPB（日本野球機構）の既存12球団入りを目指します。

「将来は1軍のマウンドへ」奥田域太選手のこれからの活躍を期待しています。



星城大学 名古屋丸の内キャンパス 「四万十うどん」オープン

2月6日（火）、星城大学名古屋丸の内キャンパス1階にセルフうどん店「四万十うどん」がオープンし、早くも大盛況を博しています。

高知県四万十市の製麺所で作られたツルっとモチモチ食感が特徴のうどん。定番のかけうどんやぶっかけうどんのほか、屋号が名称となった柚子の香り爽やかな「四万十うどん」、ボリュームたっぷりの「豚肉うどん」など、豊富なメニューで食べ盛りの学生はじめ丸の内オフィス街で働く方、地元の方のお腹を満たしています。うどん以外にも揚げたて天ぷらやおでん、おにぎりなども取り揃え好評です。

営業時間は11時～15時、17時～21時（日曜定休）。お近くへお越しの際はぜひ、お立ち寄りください。



【四万十うどん】

星城懇話会 会員交流会 開催

令和5年12月6日（水）、年末恒例の「星城懇話会 会員交流会」がTHE CONDER HOUSEにて開催されました。

今回のイベント「音楽ライブ」では、数々の音楽イベントやライブに出演され、ご活躍中のシンガー大友玲子さんとピアニストの森永理美さんによる歌と演奏を楽しみました。皆さまおなじみの歌謡曲やクリスマスソングに合わせて、一緒に口ずさんだり手拍子したりと会場は大いに盛り上がりました。

イベント後には交流会が行われ、おいしい食事とともに、名刺交換や企業PRなど、積極的な異業種交流が図られ、親睦の輪が広がりました。約120名と今回も多くの方にご参加いただき、とても有意義な楽しい会となりました。



【最後は参加者一同、三本締めで締めくくりました】

星城懇話会 会員募集中!

星城懇話会では、教育的・文化的な分野を中心に年間通して事業を開催し、様々な事業を通じて、会員の皆様の交流や啓発、地域貢献を行っています。今後も楽しく魅力ある事業を企画してまいります。

<星城懇話会事務局>（学校法人名古屋石田学園法人本部内）

〒476-8588 東海市富貴ノ台2-172 TEL 052-689-6002 FAX 052-689-6003

MAIL konwakai@seijoh-u.ac.jp



【web サイト】

